

「おかせ下さい。私たち手をつなぐ育成会は全国組織です」

一般社団法人 栃木県手をつなぐ育成会

会長 小島 幸子

いつも栃木県の育成会を応援していただきありがとうございます

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会は、47都道府県育成会と8の政令指定都市の育成会を正会員としており、会員数は約10万人です。1952年（昭和27年）に3人のお母さんから始まったこの活動は、知的障害者の権利擁護と政策提言を主な活動の柱としています。

今回は、育成会が全国に広がる組織であることを実感したケースをご紹介します。

会員であるAさんは一人っ子で、故郷から遠く離れたところで障害のあるお子さんとともに家族で暮らしていました。この度、実家のご両親が揃って介護が必要な状態になり、ご両親の元へすぐに駆けつけたいところだが、障害のあるお子さんをご主人一人に任せることは難しく、相談支援専門員が中心となり話し合いが行われました。お子さんと一緒に帰省して近くの福祉事業所を利用する方法、お父さんと二人で生活出来るように新たな福祉サービスを利用する方法。いろいろなことをお子さんの利用体験などを含めて行いました。その時に相談相手になってくれたのが、地元育成会の会長と実家のある地域の育成会の会長でした。同じ親の立場だからこそ、わかる悩みを安心して話すことができ、役所や事業所に対してもフットワーク良く動いて、Aさんの心の支えになっていると聞いています。

コロナ禍も影響もあり、人と人との繋がりが薄くなっていると実感することも多いですが、いざ困った時に「あなたのそばの育成会のチカラ」を頼って下さいね